



地域森づくり会議方式による 森林の集約化と間伐の進捗状況

豊田市 産業部 農林振興室
森林課 森づくり推進担当
書記 田中 貴之

本日の流れ

人工林間伐の課題

森づくり会議・団地化とは

団地化の流れについて

進捗状況

まとめ

本日の流れ

人工林間伐の課題

森づくり会議・団地化とは

団地化の流れについて

進捗状況

まとめ

人工林間伐の課題

間伐手順

- ①所有者特定、②境界確認、
- ③測量、④森林調査
- ⑤見積り、⑥契約、⑦施業

個々でやると非効率！

境界問題

- ・境界がわからない
- ・所有者が不在
- ・所有者の高齢化

境界確定が難航！

地域全体でやることが大事！

本日の流れ

人工林間伐の課題

森づくり会議・団地化とは

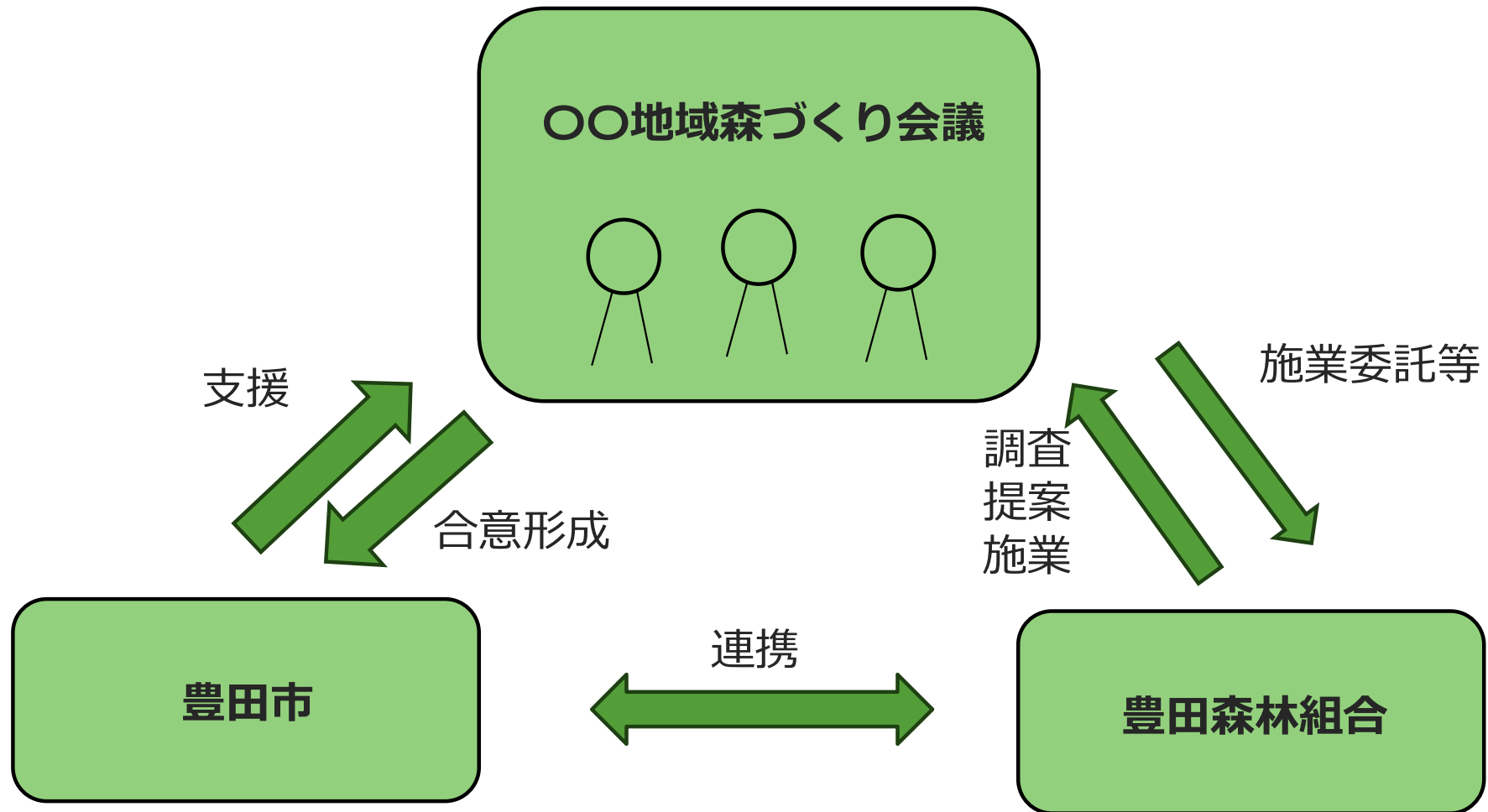
団地化の流れについて

進捗状況

まとめ

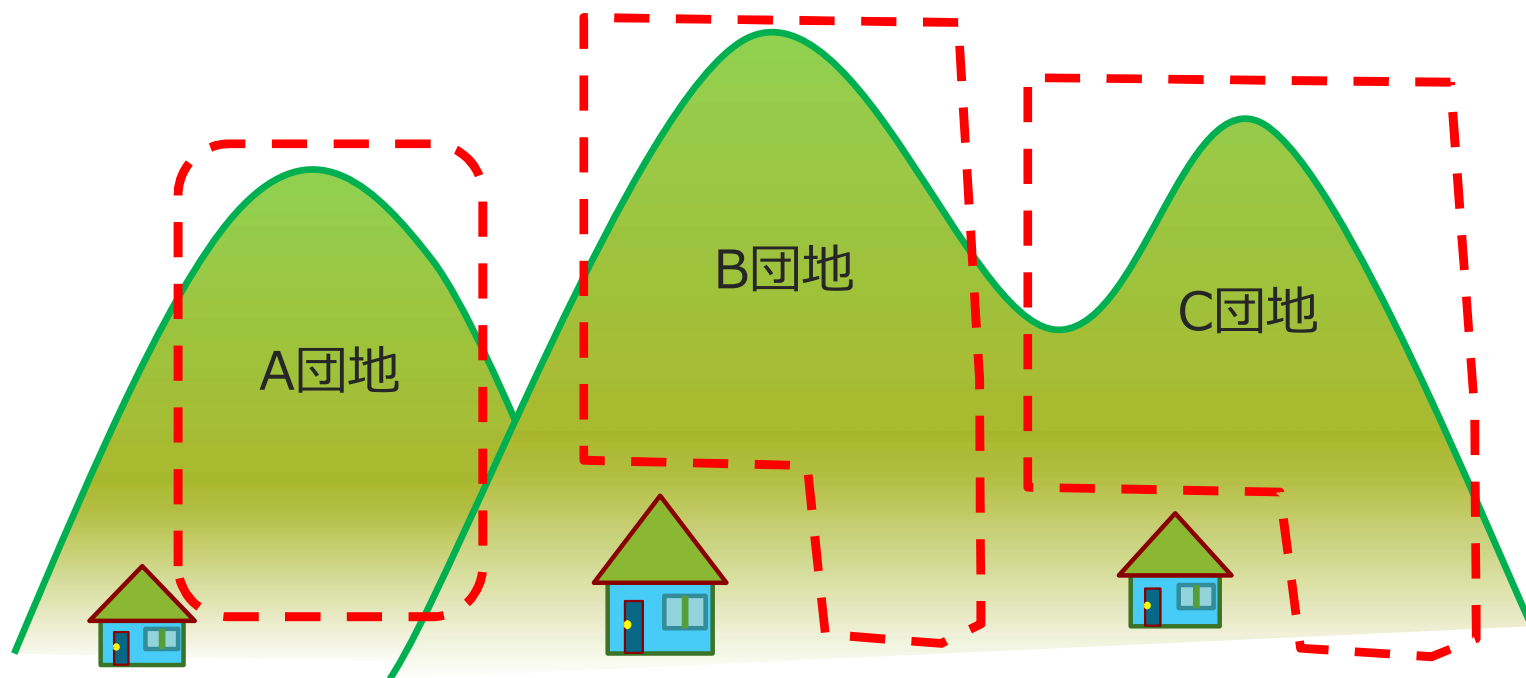
森づくり会議とは

森づくり会議：
山主が集まって設立する地域組織



森づくり団地とは

〇〇地域森づくり会議



森づくり団地：

間伐の実施計画を立てる区域のまとめり（人工林20ha程度）

本日の流れ

人工林間伐の課題

森づくり会議・団地化とは

団地化の流れについて

進捗状況

まとめ

団地化の流れ（事前説明会・会議の設立）



事前説明会



会議の設立



団地の設置



杭入れ



測量・調査



提案会



団地計画策定



施業

団地化の流れ（団地の設置）



事前説明会



会議の設立



団地の設置



杭入れ



測量・調査



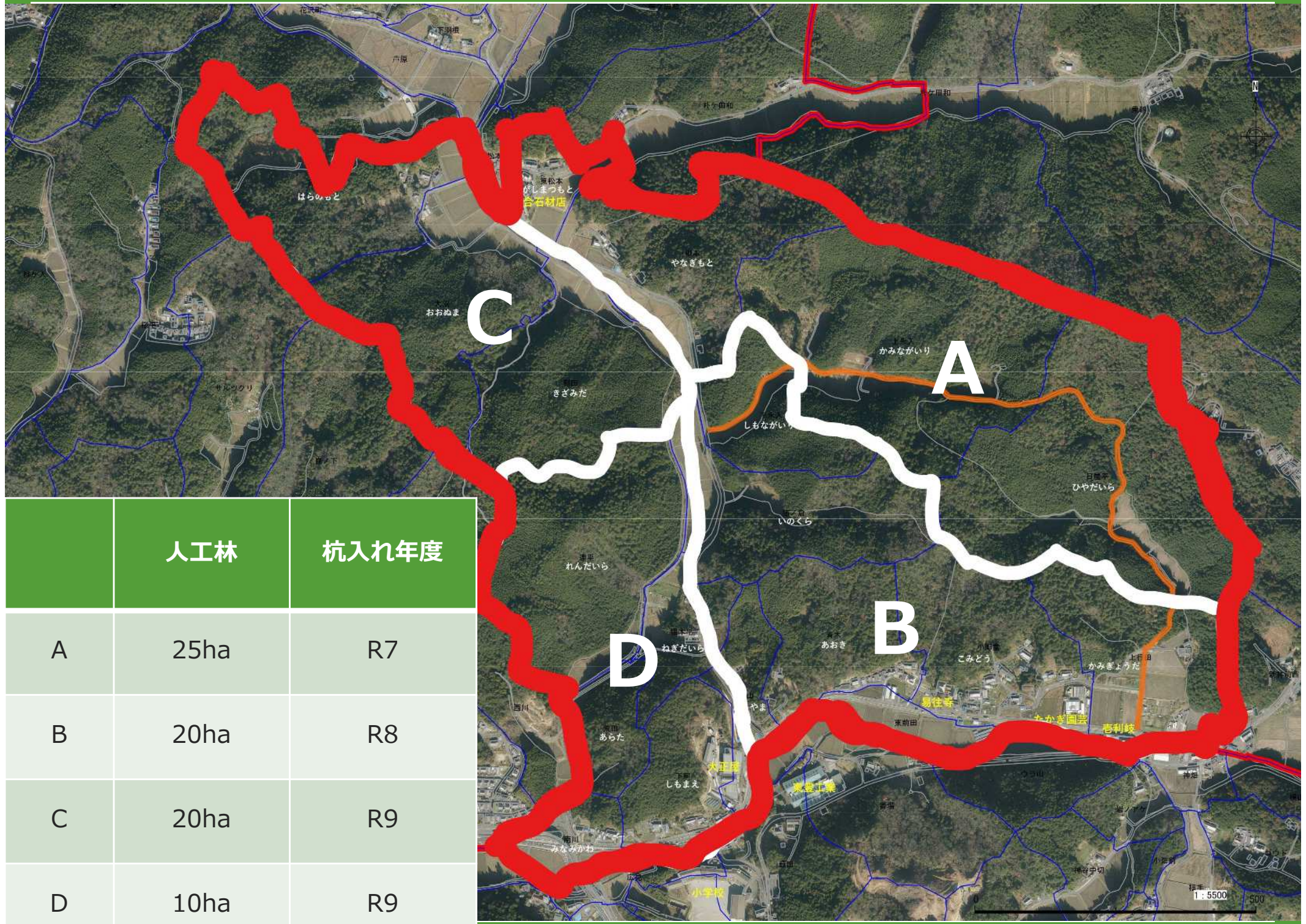
提案会



団地計画策定



施業



	人工林	杭入れ年度
A	25ha	R7
B	20ha	R8
C	20ha	R9
D	10ha	R9

団地化の流れ（杭入れ）



境界を決めるのは
所有者さん同士です

事前説明会



会議の設立



団地の設置



杭入れ



測量・調査



提案会



団地計画策定



施業

団地化の流れ（杭入れ）



境界が確認出来たら
杭を打ち込みます

団地化の流れ（測量）



事前説明会



会議の設立



団地の設置



杭入れ



測量・調査



提案会



団地計画策定



施業

団地化の流れ (森林調査)



森のカルテ野帳

調査日：令和 年 月 日
調査者：

所在地： カルテNo.：

[ブロック] □ 山形 109号(計# 565a) □ 山形 109号(計# 565a) □ 山形 109号(計# 565a)

【ブロック調査結果】									
区	区	区	区	区	区	区	区	区	区
1	11	11	11	11	11	11	11	11	11
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3	13	13	13	13	13	13	13	13	13
4	14	14	14	14	14	14	14	14	14
5	15	15	15	15	15	15	15	15	15
6	16	16	16	16	16	16	16	16	16
7	17	17	17	17	17	17	17	17	17
8	18	18	18	18	18	18	18	18	18
9	19	19	19	19	19	19	19	19	19
10	20	20	20	20	20	20	20	20	20

(平均直径)	cm	材木の 用途 用途 用途
立木本数	/ha	
平均木高	m	
樹冠うっ閉	【疎・密】	
樹種割合	スギ % ヒノキ %	
林齢	年生	
傾斜角	度	
下層植生密度 (80-200cm)	【無・疎・密・過密】	

現 状 ②	竹類	【なし・一部・相当】	緊急性	【高・中・低・無】
	ササ類	【なし・一部・相当】	必要性	【高・低】
	不良木(枯曲)	【なし・一部・相当】	路網	【無・有】(撤・作・林・農・公)
	ツル絡み	【なし・一部・相当】	施業跡	【無・有】(撤・作・林・農・公・除・伐・山・水・障・森・み)
	枯木(広葉樹)	【なし・一部・相当】		
広葉樹侵入	【なし・一部・相当】			

山形県 山形市 山形市 山形市

①山の特徵、
②干入れの形態、
③お勤めの施業、

【施業注意事項】			
家屋あり	山畑あり	崩壊地あり	林床栽培
構造物あり	沢あり	岩多い	歩道あり
電線あり	取水口あり	風写りあり	田畑跡

※(参考) 樹山距離を自らの調査問題により調査・報告 道幅等のため、安全の観点からも間伐が必要。

切開	30%	年に
	40%	
利用	車両系	年に
	架線系	
自力	□ 自力施業 □ 現況混交林(=自然遷移) □ 皆伐待ち(=間伐不要)	



団地化の流れ（提案会）



事前説明会



会議の設立



団地の設置



杭入れ



測量・調査



提案会



団地計画策定



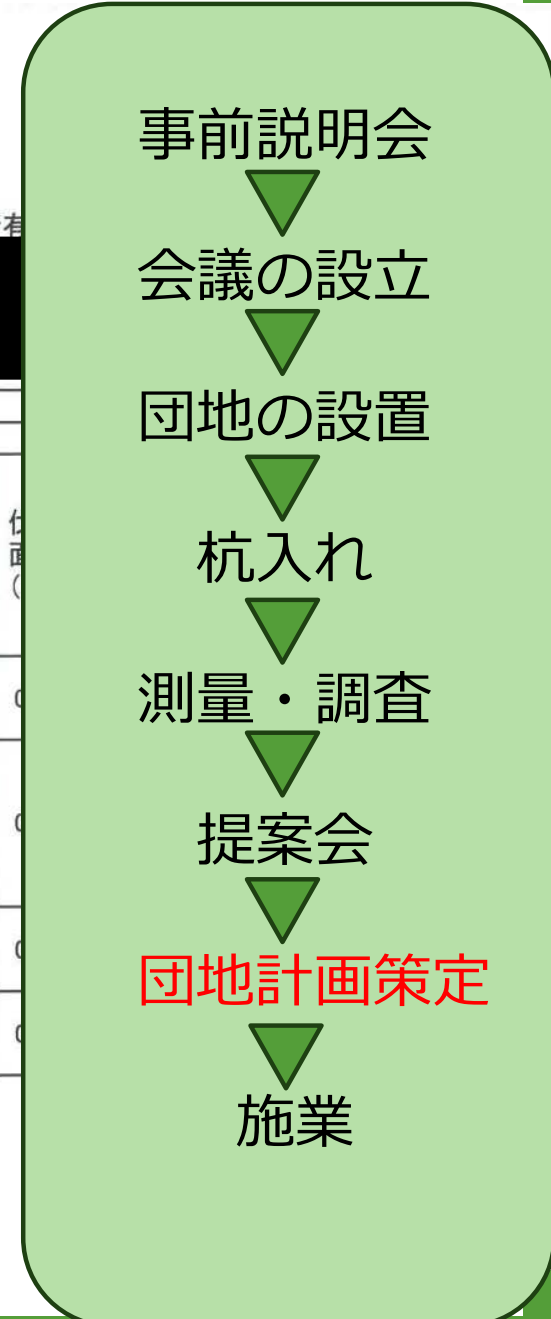
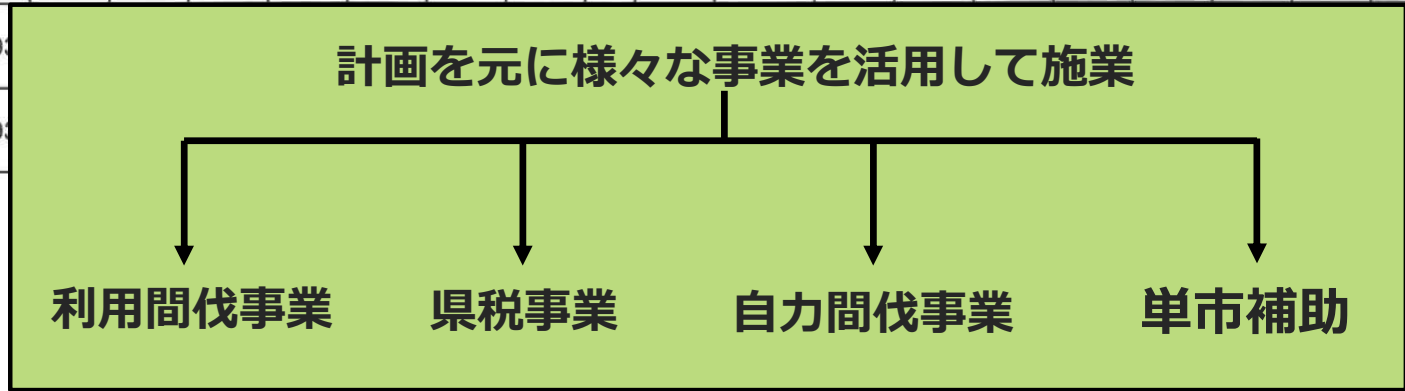
施業

団地化の流れ（団地計画策定）

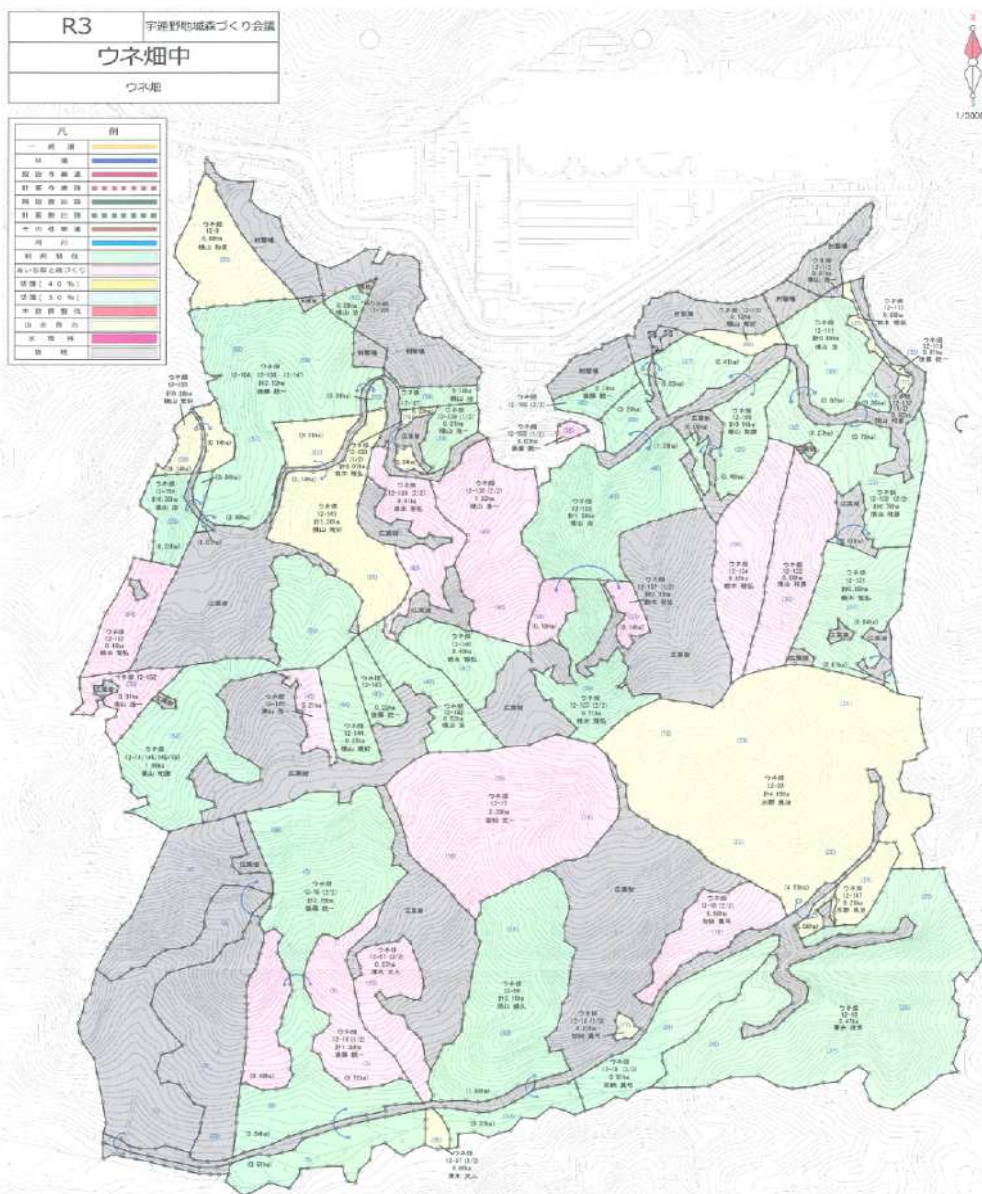
(様式第6号)
 森づくり団地計画書 ■■■■ 地域 森づくり会議 ■■■■ 団地)

森林所有
 住所 ■■■■
 氏名 ■■■■

森林の所在地					森林の現況							施業計画						
林班	小班	町	字	地番	地目	制限林	台帳面積 (ha)	実測面積 (ha)	樹種	林齢	ha当りの本数 (本)	施業方法			林業用路網計画		実施年度	
												森林区分	施業種	実施者	有・無	種類		
6093	イ	■■■■	■■■■	14	山林	公	0.1557	0.39	ヒノキ・スギ	50	1,200	経	切	委	無	—	H20	
6093	イ	■■■■	■■■■	27	山林	公	0.1824		0.08	スギ	35	1,200	経	切	委	無	—	H20
6093	イ	■■■■	■■■■	28	山林	公	0.0776											



団地化の流れ（団地計画策定）



この図は、森林づくり委員会に基づき作成されたもので、図中の「●」「★」は、森林計画で指定する区画（管理区画）の境界を示しています。また、図中の「●」「★」は、森林計画で指定する区画（管理区画）の境界を示しています。また、図中の「●」「★」は、森林計画で指定する区画（管理区画）の境界を示しています。また、図中の「●」「★」は、森林計画で指定する区画（管理区画）の境界を示しています。

森のカルテ

森林を調査、診断しましたので「森のカルテ」としてお知らせいたします。
この機会に所有されている山に少しだけ目を向けてみませんか？

調査日：2024/12/19
カルテ番号：一ノ瀬-12
調査者：田中・大竹

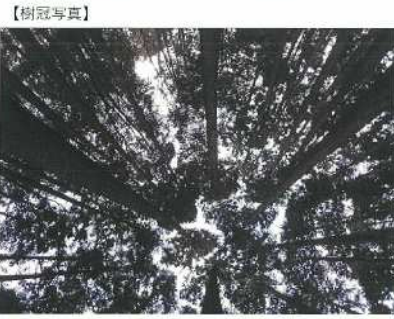
計画年度	地区名	会議名	団地名
R6	下山	樫	

【森林の立地】

林班	小班	所在地		
5140	A	豊田市 [redacted]		
測量面積	平均傾斜	平均標高	地目	制限林
3.19 ha	27 度	490 m	山林	—

【森林の状況】

ha当り立木本数	1500 本	樹種		竹類	つる絡み
		スギ 50 %	ヒノキ 50 %	無	一部
平均木樹高	21 m	推定林齢	林床植生密度	笹類	枯木
		50 年	ほとんど無い	無	一部
平均木胸高直径	26 cm			不良木	広葉樹
				一部	無



【推奨施策】

強度間伐 (40%以上～50%程度)
ha当り残存本数/ 900 本
3年以内に

【その他】
西側にある洞中にはスギがあります。過密な状態で細木も目立ちます。間伐をおすすめします。

団地化の流れ（間伐）



事前説明会



会議の設立



団地の設置



杭入れ



測量・調査



提案会



団地計画策定



施業

本日の流れ

人工林間伐の課題

森づくり会議・団地化とは

団地化の流れについて

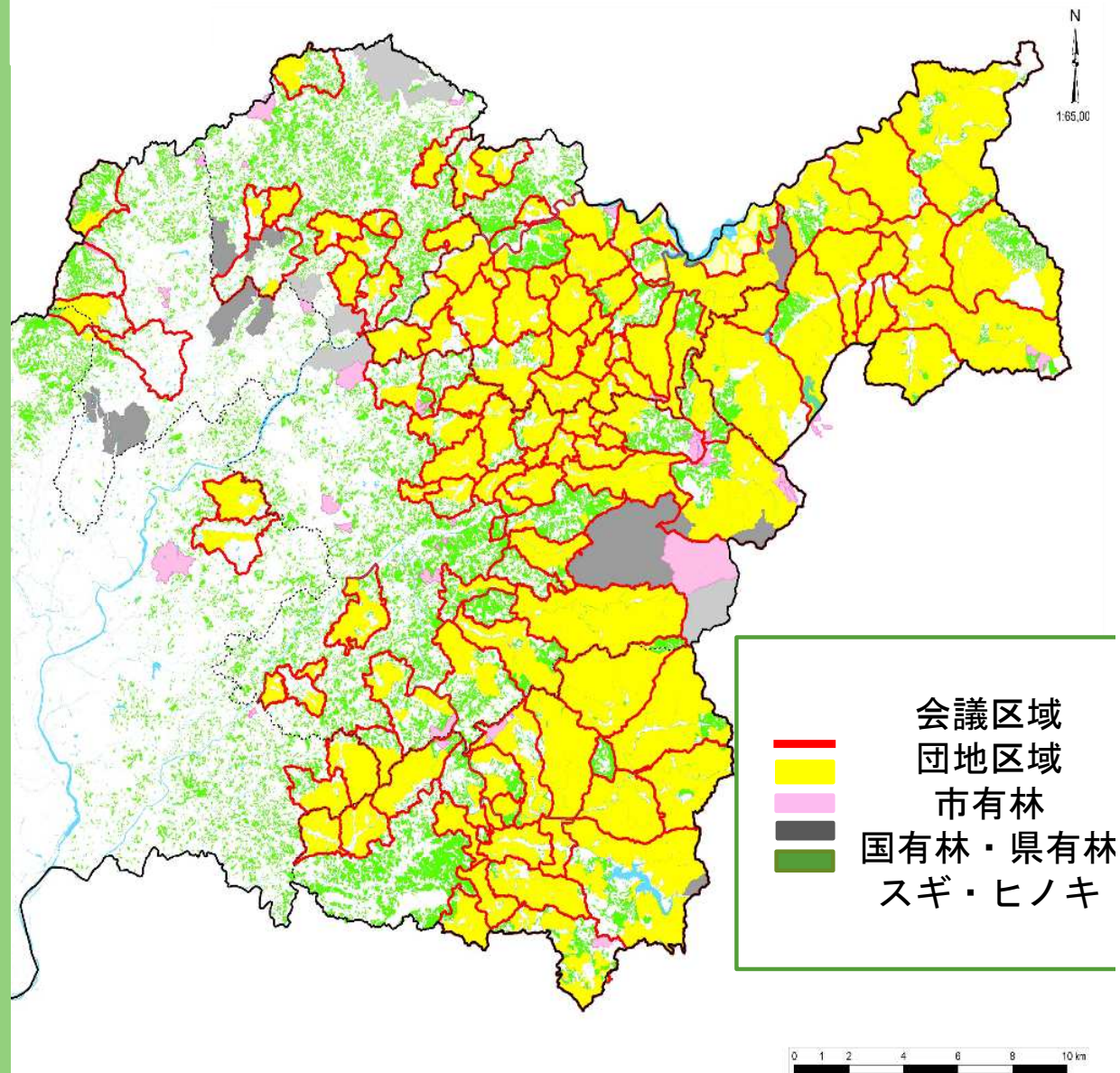
進捗状況

まとめ

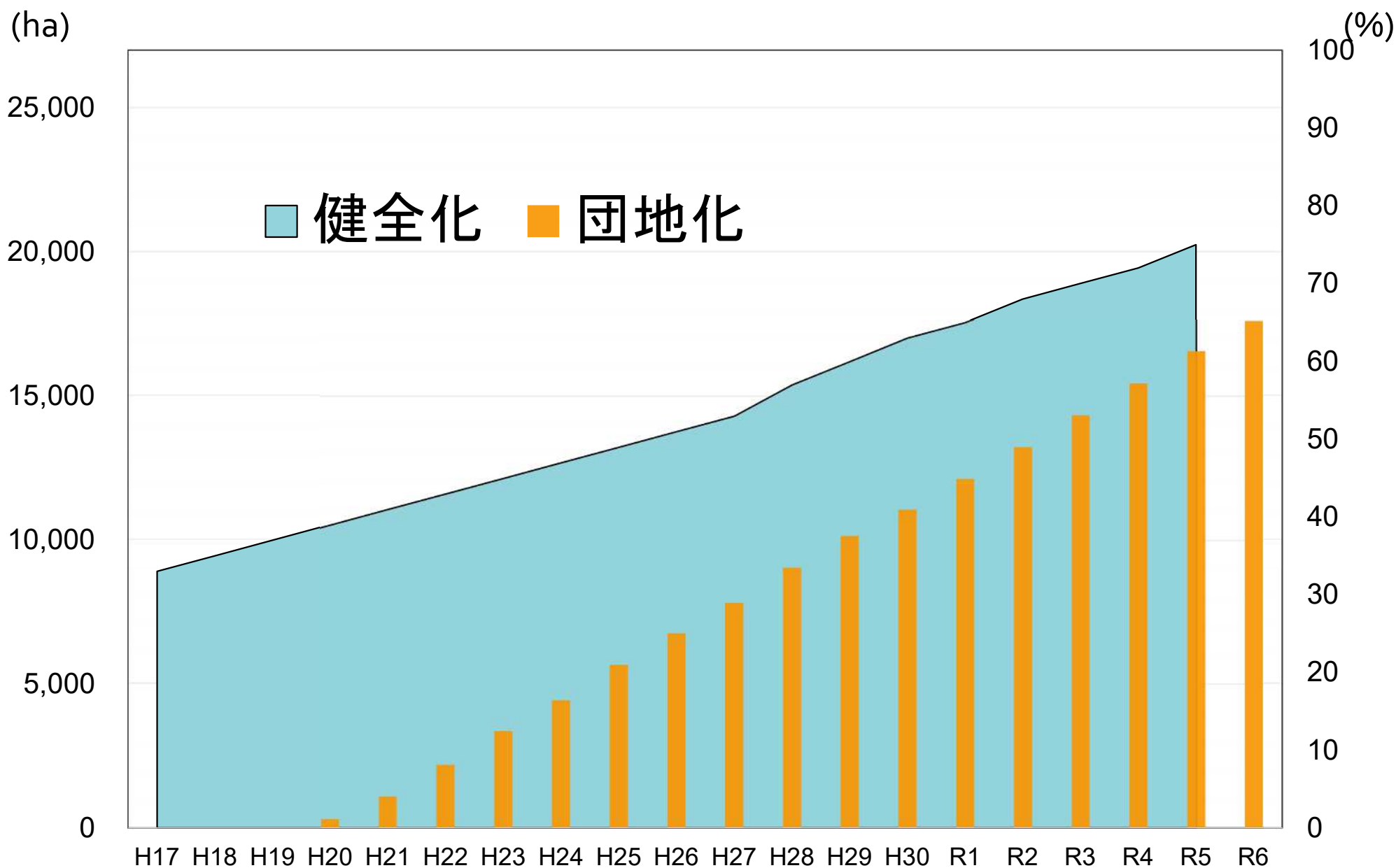
森づくり会議・団地の進捗状況

団地化

H20	20団地	308.02ha
H21	48団地	782.46ha
H22	63団地	1,107.83ha
H23	57団地	1,166.66ha
H24	45団地	1,072.82ha
H25	56団地	1,229.60ha
H26	47団地	1,090.33ha
H27	42団地	1,054.38ha
H28	48団地	1,245.60ha
H29	48団地	1,098.36ha
H30	36団地	912.13ha
R01	44団地	1,061.28ha
R02	38団地	1,104.31ha
R03	35団地	1,098.96ha
R04	45団地	1,107.83ha
R05	39団地	1,121.20ha
R06	44団地	1,048.03ha
合計	755団地	17,609.63ha



森づくり会議・団地の進捗状況



まとめ

- ・ 市内 私有人工林の65%が集約化！
70%が健全化！
- ・ 年900haの間伐が安定実施！

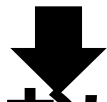


過密人工林を一掃し、安心安全なまちづくり！

人工林間伐の課題

間伐をするために必要なこと

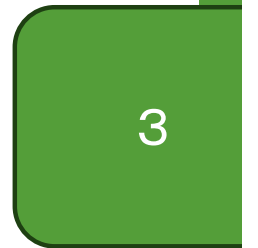
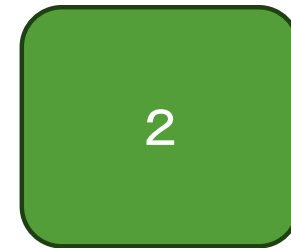
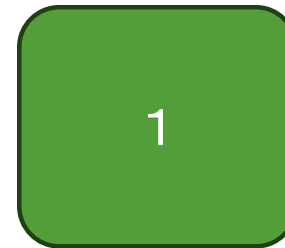
所有者の特定、境界の確認、測量、
森林調査、見積もり、契約



境界確認においても問題が...

境界がわからない（山離れ）
所有者の不在、高齢化
森林情報の精度と鮮度に課題

境界確認問題



**間伐を行うためには、
皆で一緒に行うことが大事**

まとめ

- ・ **市内 私有人工林の65%が集約化！
70%が健全化！**
- ・ **年900haの間伐が安定実施！**



過密人工林を一掃し、安心安全なまちづくり！

木

実施さ
てきてい

し、安

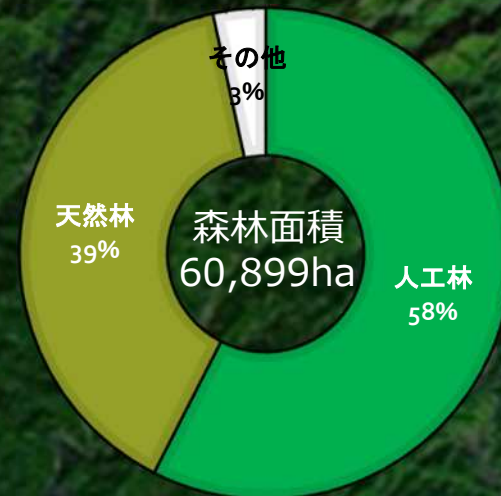
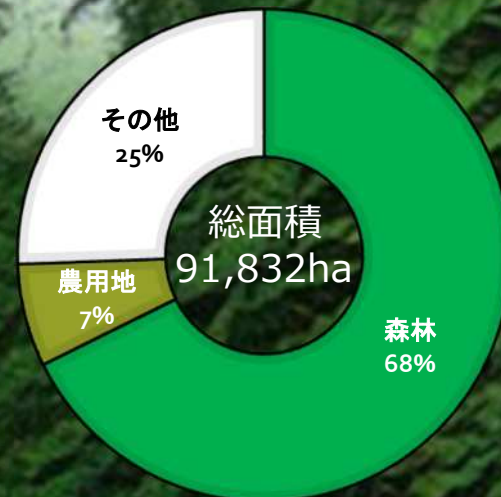
現状

現状――

豊田市役所本庁

● 森林課

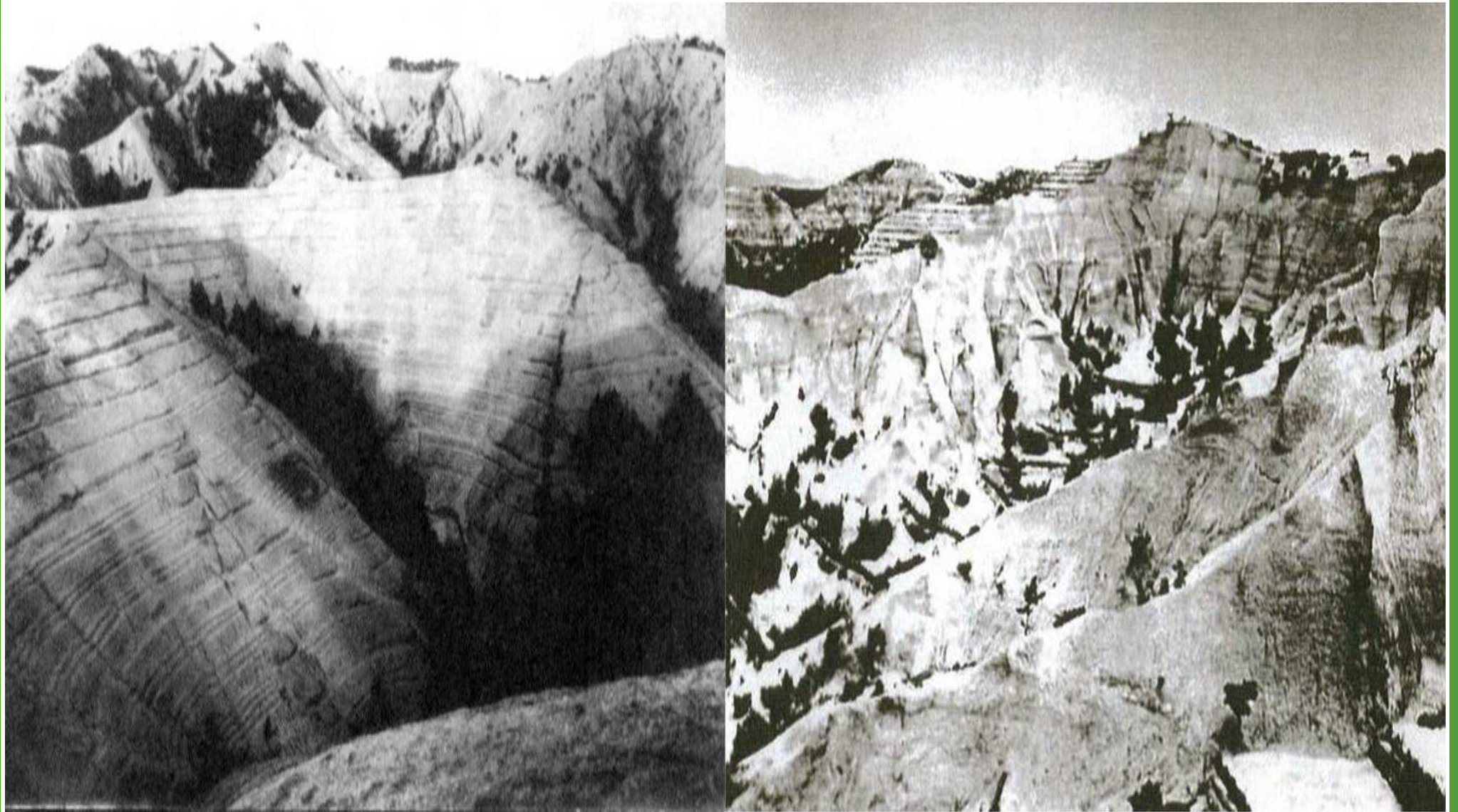
↑ 矢作川



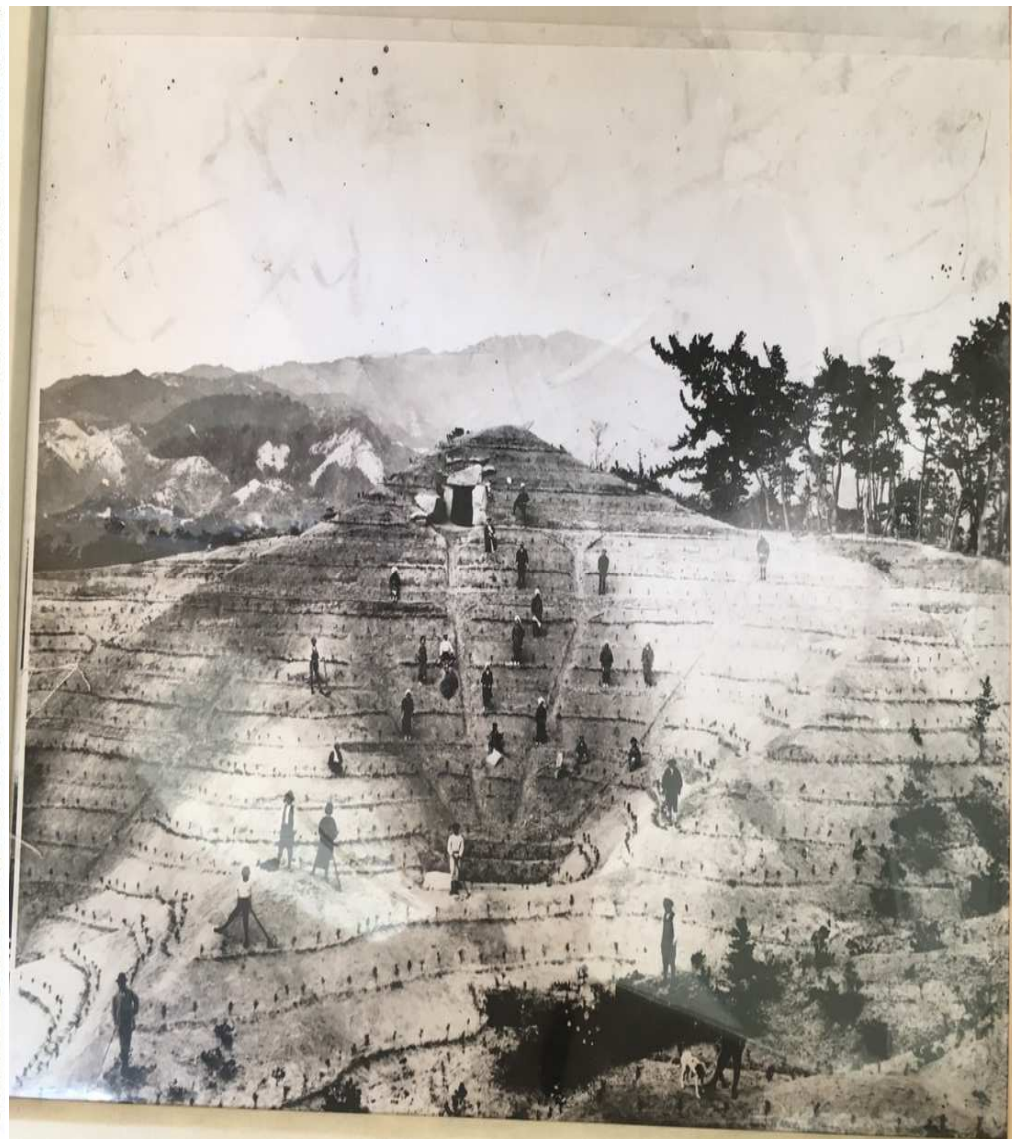
行政区域 約92,000ha (県土の約18%)
森林面積 約62,200ha (市域の約68%)
人工林面積 約35,000ha (森林の約58%)
うち、スギ・ヒノキの人工林が約30,000ha
合併時の過密人工林は約20,000haと推定

背景と課題

背景一一

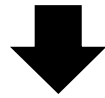


背景——



背景

明治時代から本格的な治山・植林事業により豊かな森林が形成されたが…



木材の価格の低下

→外国産材の輸入、非木造化

木材の使用低下

→エネルギー革命、生活様式の変化



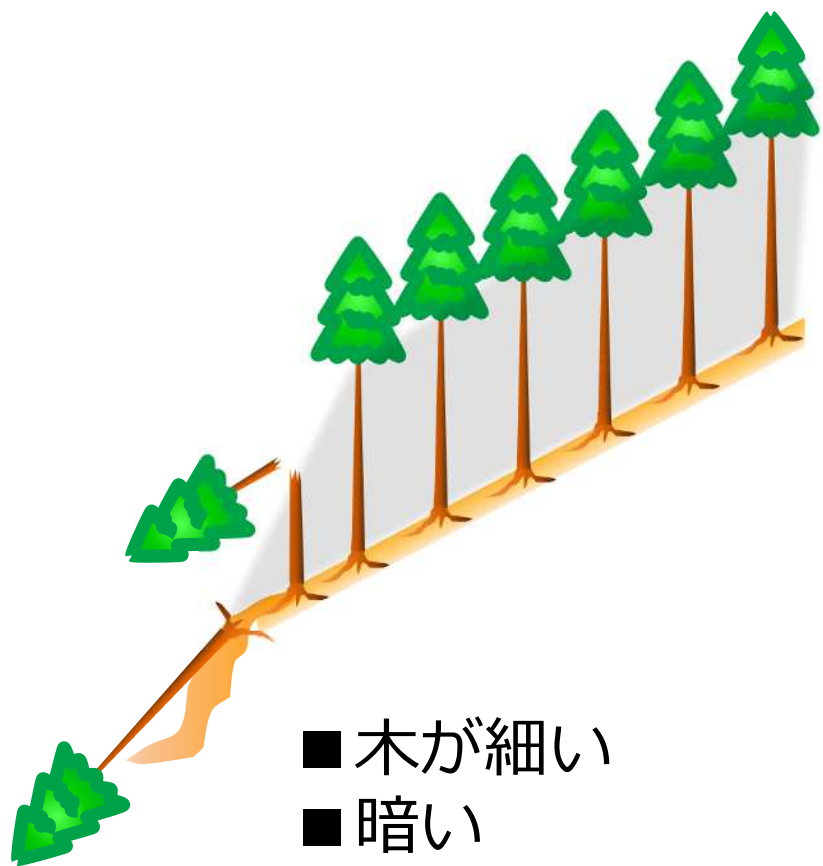
山では食べていくことができない

林業従事者の減少



山が手入れされなくなり放置状態に

背景――



- 木が細かい
- 暗い
- 下草なし

間伐遅れ人工林

間伐された人工林



- 木が太い
- 明るい
- 下草あり

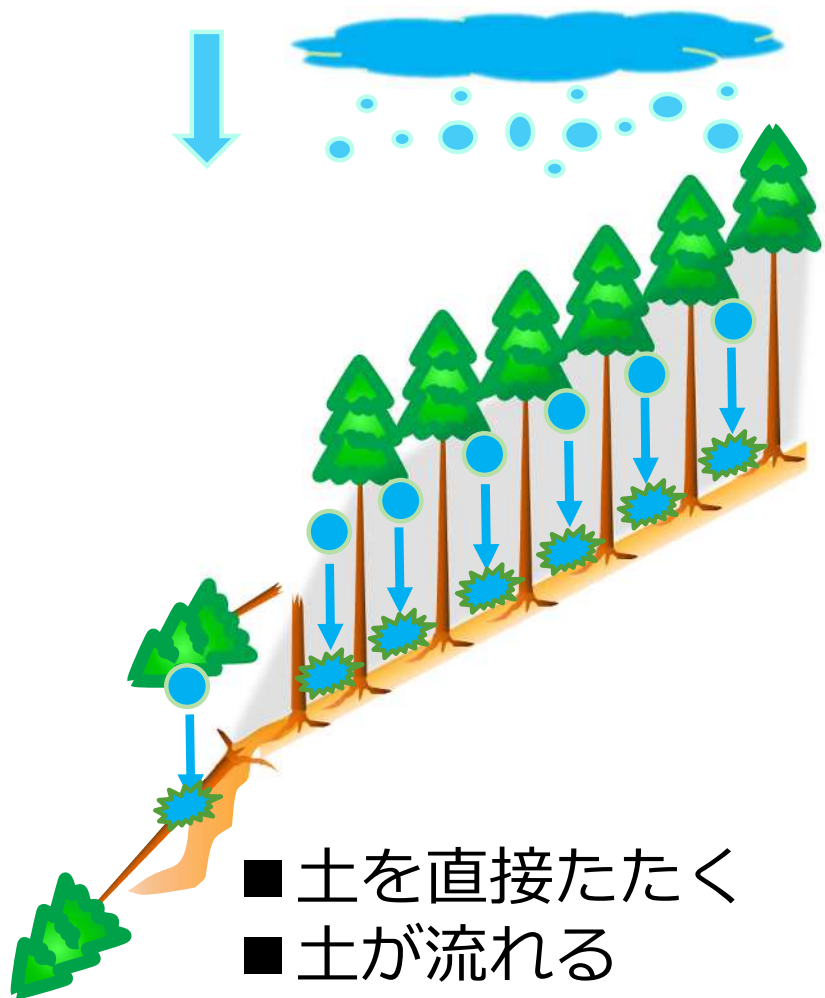
間伐遅れ人工林



間伐された人工林



背景――



間伐遅れ人工林

間伐された人工林



生物多様性&緑のダム機能
の向上

背景 - 東海豪雨(2000年9月) -

豊田市駅

豊田スタジアム

矢作川





小渡小学校

旭総合体育館

幼稚園(濁流の中)



水が引いた後の
小渡小と総合体育館



笹戸温泉



**危機的状況の
矢作ダム**





上流部には過密人工林！

稲武町月ヶ平（中田和）地内

森林

川

つながり

まち

